

**J A 全農さいたま
提出資料**

平成28年 野菜需給協議会現地協議会資料

埼玉県の農業と

全農さいたまの取り組みについて



平成28年11月21日(月)

全農埼玉県本部

目 次

I—1	埼玉県農業の位置	P 1
2	農業構造	P 3
3	農地の利用	P 5
4	生産動向	P 7
	平成27年に農林水産省が作成した資料を抜粋	
II	年度別品目別共販実績ベストテン	P 10
III	埼玉県共販品品目別取扱数量推移	P 11
IV	全農埼玉県本部の取り組み	P 12

I 農業

1 埼玉県の農業の位置

(1) 主要農業指標

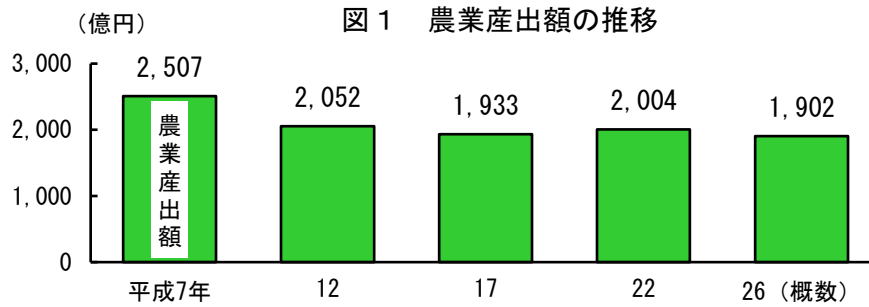
		年次	単位	全 国	関 東	埼 玉 県			
							全国シェア	関東シェア	
総 土 地 面 積		平成26年	千ha	37,797	5,823	380	1.0	6.5	
耕地面積	総 数	平成27年	〃	4,496	798	76	1.7	9.6	
	内 訳	田	〃	2,446	429	42	1.7	9.9	
		普通畑	〃	1,152	280	31	2.7	11.0	
		樹園地	〃	291	79	3	1.1	4.0	
		牧草地	〃	607	11	0	0.0	0.6	
耕 地 率		〃	%	12.1	13.7	20.1	-	-	
水 田 率		〃	〃	54.4	53.7	55.4	-	-	
1経営体当たりの経営耕地面積		〃	ha	2.53	1.64	1.45	-	-	
総 世 帯 数 (総 計)		平成27年	千戸	56,412	22,342	3,124	5.5	14.0	
農家数	総 農 家 数	〃	〃	2,153	554	64	3.0	11.6	
	販売農家	主 業 農 家	〃	293	74	7	2.5	10.0	
		準 主 業 農 家	〃	257	63	7	2.8	11.4	
		副 業 的 農 家	〃	777	184	22	2.8	11.9	
	自 給 的 農 家	〃	826	232	28	3.3	11.9		
総 人 口 (総 計)		平成27年	千人	128,226	49,762	7,305	5.7	14.7	
販売農家	農 業 就 業 人 口	〃	〃	2,090	529	58	2.8	11.0	
	基幹的農業従事者数	〃	〃	1,768	465	51	2.9	10.9	
農業産出額	総 額	平成26年	億円	84,279	21,524	1,902	2.3	8.8	
	部門別産出額	米	〃	〃	14,370	2,939	350	2.4	11.9
		麦類	〃	〃	389	58	10	2.6	17.2
		野菜	〃	〃	22,421	8,153	967	4.3	11.9
		果実	〃	〃	7,628	1,980	65	0.9	3.3
		花き	〃	〃	3,437	1,057	165	4.8	15.6
		工芸農作物	〃	〃	1,889	372	14	0.7	3.8
		畜産	〃	〃	29,912	5,818	289	1.0	5.0

資料：総土地面積は、国土地理院『全国都道府県市町村別面積調』による。
 総世帯数及び総人口は、総務省『住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数』による。
 耕地面積、水田率、耕地率は、農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』による。
 1経営体当たりの経営耕地面積、農家数及び販売農家は、農林水産省統計部『2015年農林業センサス』による。
 農業産出額は、農林水産省統計部『生産農業所得統計』による。

- 注：1 掲載したデータは概数のため変更される場合がある。
 2 販売農家とは、経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。
 3 主業農家とは、農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいう。
 4 準主業農家とは、農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいう。
 5 副業的農家とは、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない農家（主業農家及び準主業農家以外の農家）をいう。
 6 関東とは、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県及び静岡県を含む地域をいう。

(2) 農業産出額

埼玉県は平成26年の農業産出額は、1,902億円となっている。

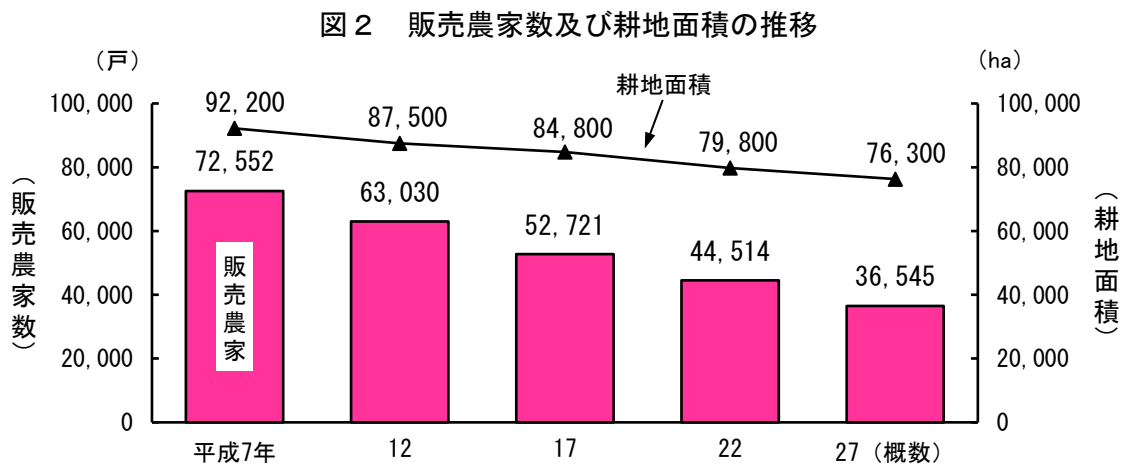


資料:農林水産省統計部『生産農業所得統計』

(3) 販売農家数及び耕地面積の動向

埼玉県の平成27年の販売農家数は、3万6,545戸で、7年に比べて3万6,007戸(49.6%)減少している。

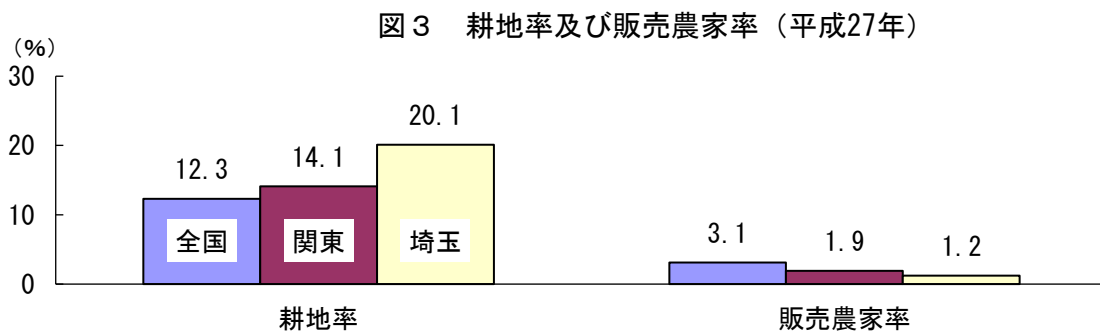
耕地面積は、平成27年が7万6,300haで、7年に比べて1万5,900ha(17.2%)減少している。



資料:農林水産省統計部『農林業センサス』『耕地及び作付面積統計』

(4) 耕地及び販売農家の割合

埼玉県の平成27年の耕地率及び販売農家率をみると、それぞれ20.1%、1.2%となっている。



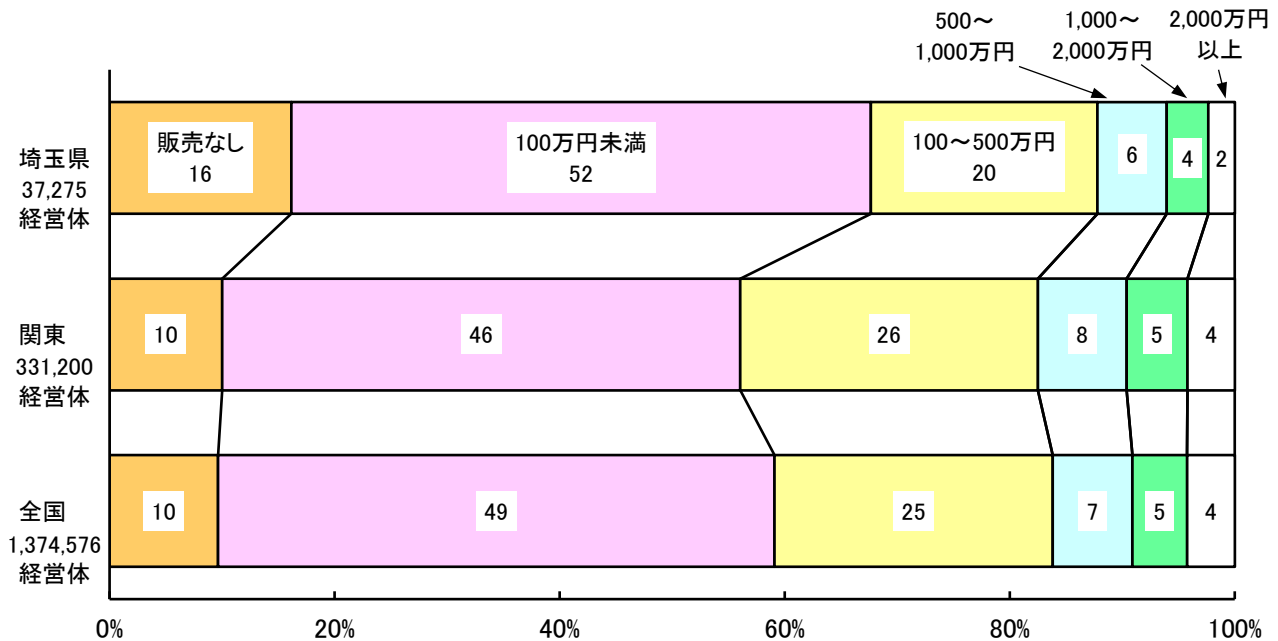
資料:国土地理院『全国都道府県市町村別面積調』、総務省『住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数』、農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』『2015年農林業センサス』

2 農業構造

(1) 農産物販売金額規模別の農業経営体数割合

埼玉県は農産物販売金額規模別の農業経営体数割合は、100万円未満が52%で最も高く、次いで100～500万円未満が20%、販売なしが16%となっている。

図4 農産物販売金額規模別の農業経営体数割合(平成27年・家族経営体)

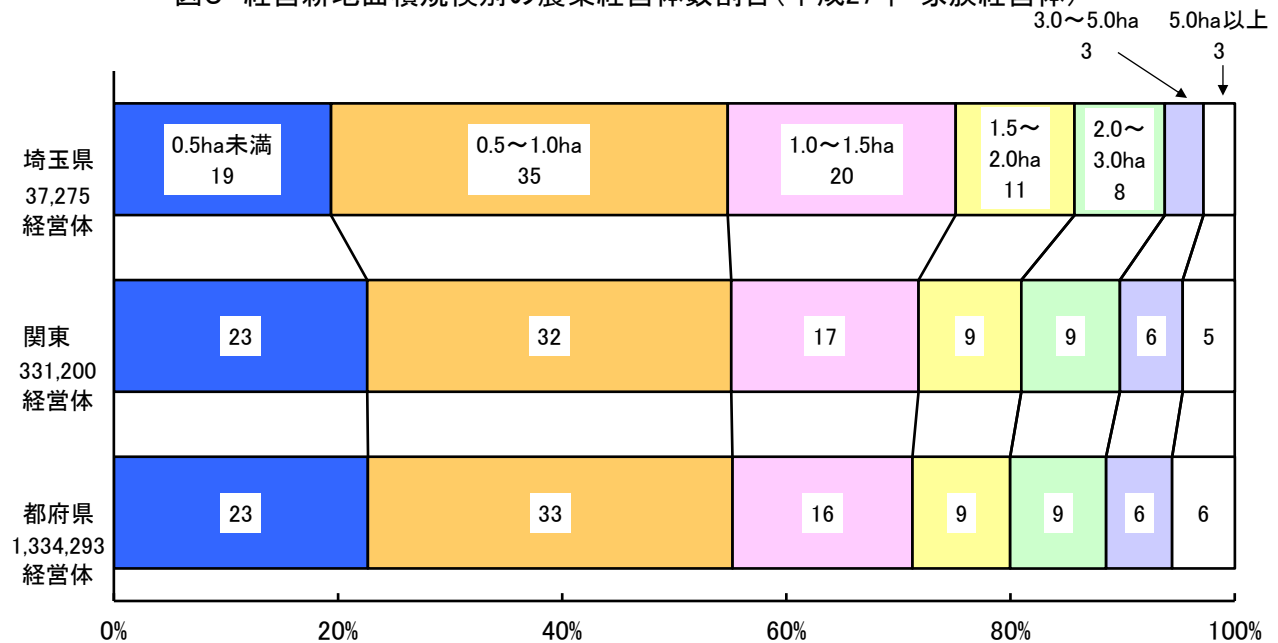


資料:農林水産省統計部『農林業センサス』(以下(4)まで同じ。)

(2) 経営耕地面積規模別の農業経営体数割合

埼玉県の経営耕地面積規模別の農業経営体数割合は、0.5～1.0haが35%と最も高く、0.5ha未満が19%となっており、1ha未満が全体の54%を占めている。

図5 経営耕地面積規模別の農業経営体数割合(平成27年・家族経営体)



(3) 販売農家数

埼玉県の平成27年の販売農家数は3万6,545戸で、17年に比べて1万6,176戸(30.7%)減少している。

図6 主副業別販売農家数の推移

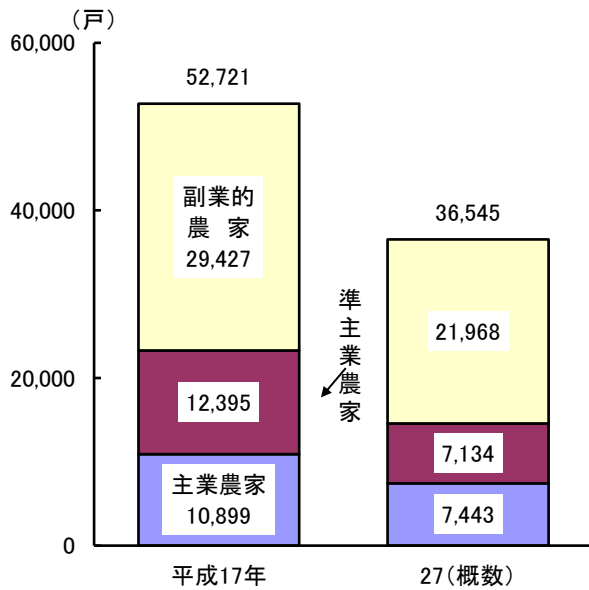
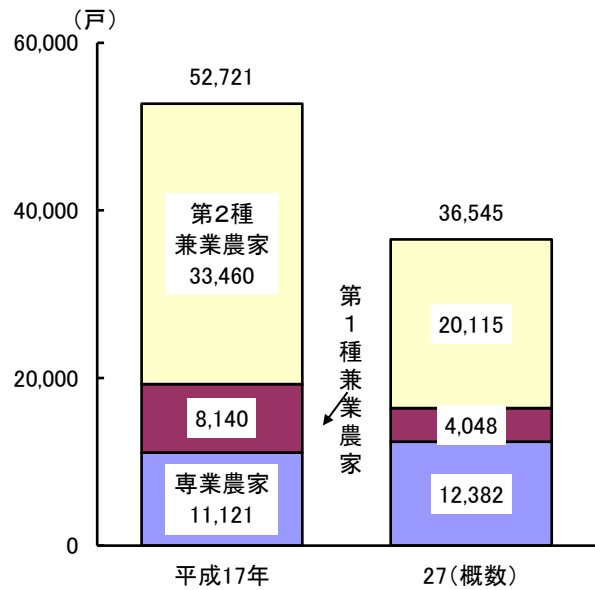


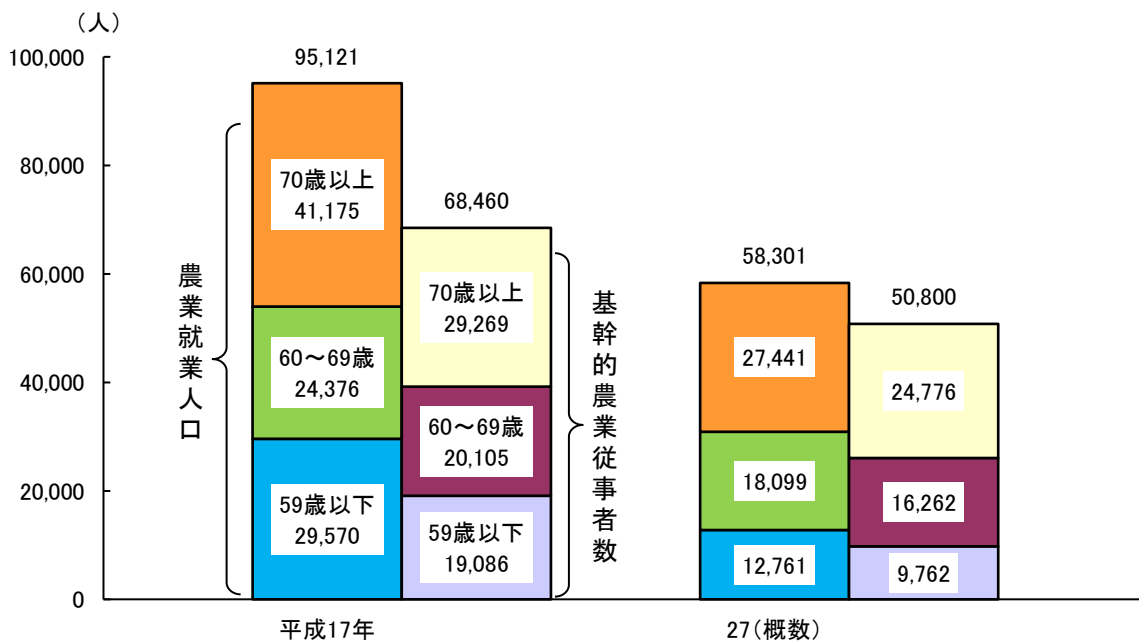
図7 専兼業別販売農家数の推移



(4) 農業労働力

埼玉県の平成27年の販売農家における農業就業人口は5万8,301人、基幹的農業従事者数は5万800人で、17年に比べそれぞれ3万6,820人(38.7%)、1万7,660人(34.8%)減少している。

図8 農業就業人口及び基幹的農業従事者の推移(販売農家)



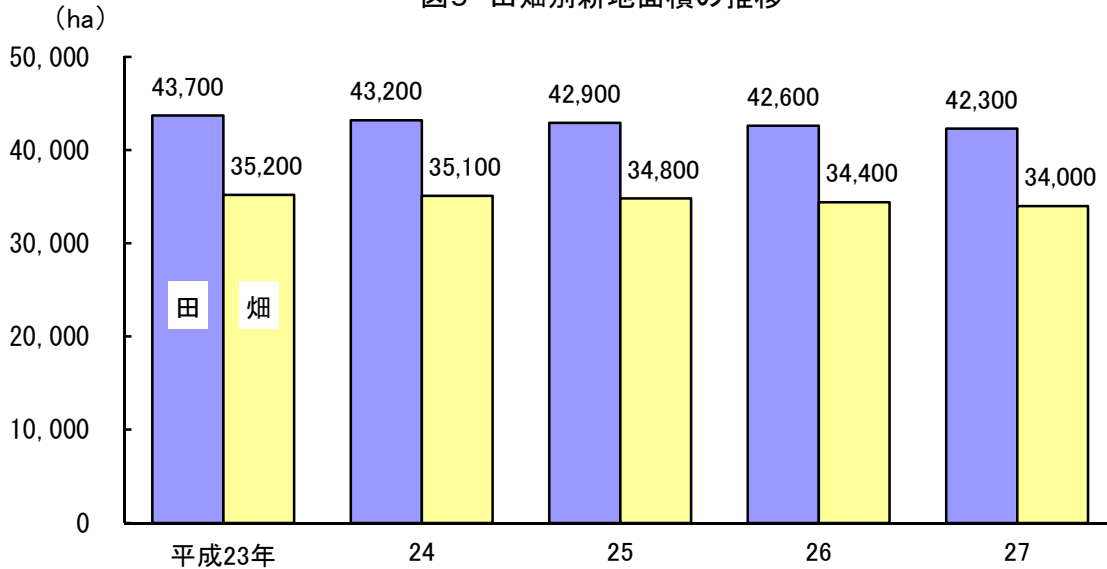
注：1 農業就業人口とは、自営農業に従事した世帯員(農業従事者)のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者をいう。
 2 基幹的農業従事者とは、農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員)のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

3 農地の利用

(1) 耕地面積

埼玉県平成27年の田の面積は4万2,300ha、畑の面積は3万4,000haで、前年に比べてそれぞれ300ha (0.7%)、400ha (1.2%) 減少している。

図9 田畑別耕地面積の推移

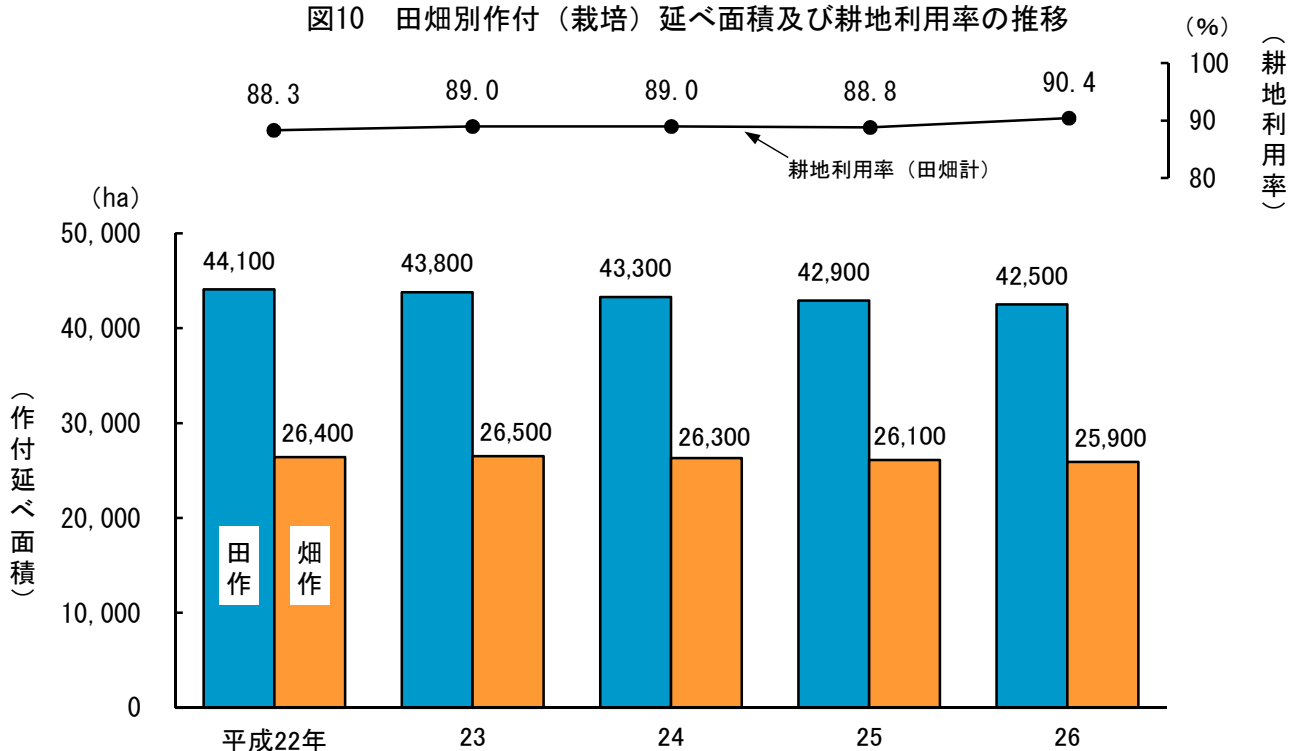


資料：農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』（以下(3)まで同じ。）
注：各年、7月15日現在の数値である。

(2) 農作物作付（栽培）延べ面積・耕地利用率

埼玉県平成26年の田作付延べ面積は4万2,500ha、畑作付延べ面積は2万5,900haで、それぞれ25年に比べて400ha (0.9%)、200ha (0.8%) 減少している。耕地利用率は90.4%で、1.6ポイント上昇している。

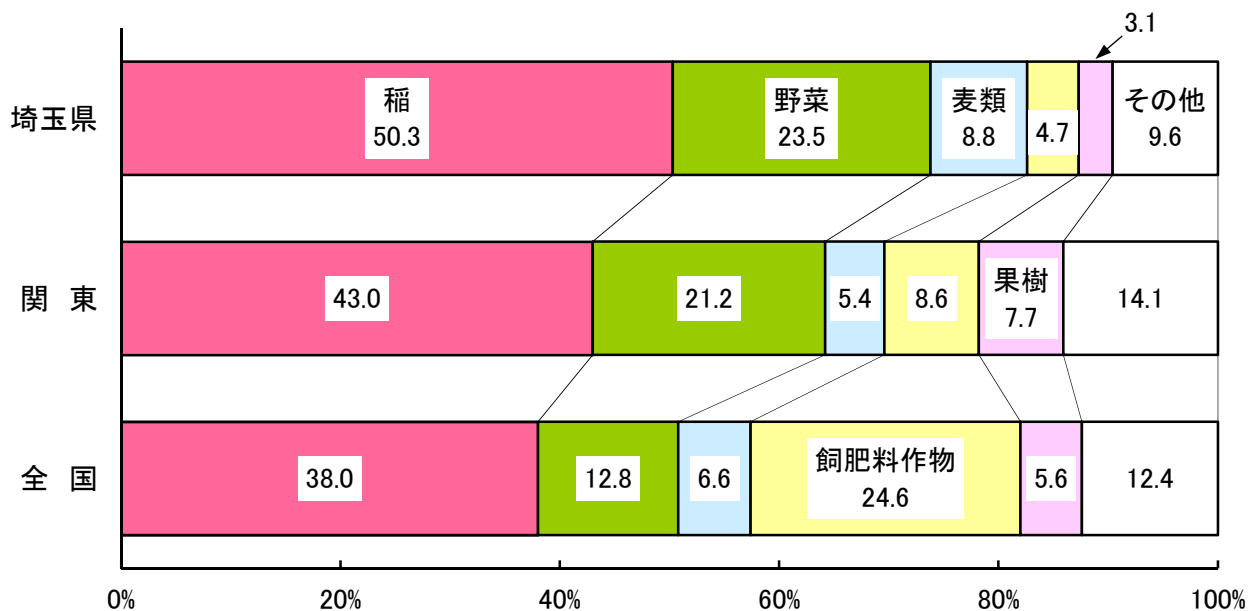
図10 田畑別作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率の推移



(3) 作物別の作付（栽培）延べ面積割合

埼玉県は平成26年の作物別作付面積割合は、稲が最も高く50.3%、次いで野菜が23.5%、麦類が8.8%となっている。

図11 作物別作付(栽培)面積割合(平成26年・田畑計)



4 生産動向

(1) 主な農産物の収穫量（出荷量）と埼玉県の全国順位

単位：t

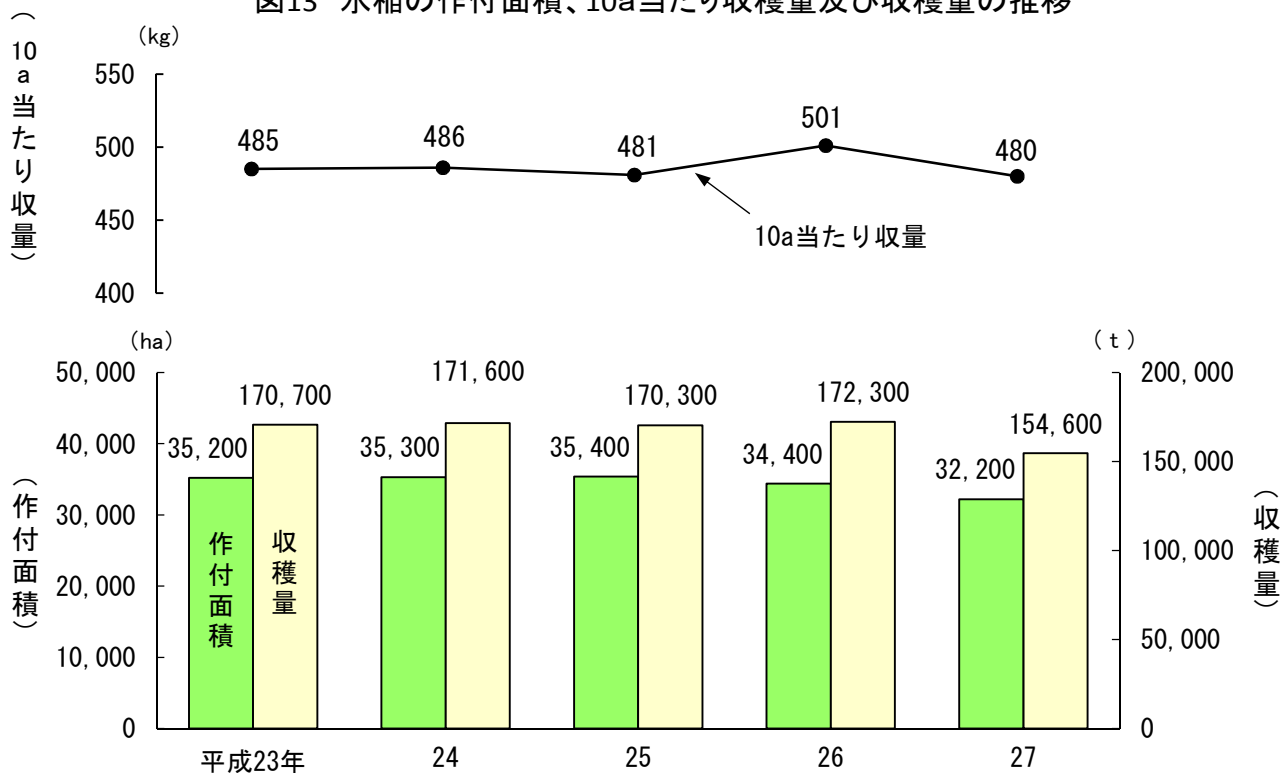
項目	年次	全国計	上位5都道府県					埼玉県の順位	備考
			1位	2位	3位	4位	5位		
水稲	26	8,435,000	新潟 656,900	北海道 640,500	秋田 546,500	山形 423,000	茨城 409,400	17位 172,300	収穫量
小麦	26	852,400	北海道 551,400	福岡 57,600	佐賀 34,400	群馬 23,600	愛知 23,200	8位 19,200	収穫量
かぶ	26	107,200	千葉 33,500	埼玉 13,900	青森 7,520	滋賀 4,570	京都 4,560	2位	出荷量
さといも	26	106,300	宮崎 17,700	千葉 15,300	埼玉 12,100	鹿児島 7,310	愛媛 6,360	3位	出荷量
こまつな	26	98,200	埼玉 14,700	茨城 11,000	福岡 8,410	東京 8,050	群馬 6,420	1位	出荷量
ちんげんさい	26	39,400	茨城 10,800	静岡 7,380	愛知 2,950	群馬 2,520	埼玉 2,330	5位	出荷量
ほうれんそう	26	215,000	千葉 32,200	埼玉 24,300	群馬 17,100	宮崎 16,700	茨城 15,100	2位	出荷量
みつば	26	14,800	千葉 2,740	愛知 2,530	茨城 1,650	埼玉 1,330	静岡 1,310	4位	出荷量
しゅんぎく	26	24,800	千葉 3,580	大阪 3,540	茨城 2,100	福岡 1,970	群馬 1,480	8位 790	出荷量
みずな	26	37,500	茨城 15,300	福岡 4,340	京都 2,340	埼玉 1,920	兵庫 1,710	4位	出荷量
カリフラワー	26	18,600	徳島 2,320	茨城 2,060	愛知 1,730	熊本 1,670	埼玉 1,650	5位	出荷量
ブロッコリー	26	130,400	北海道 21,700	埼玉 13,800	愛知 13,300	香川 8,750	長野 7,280	2位	出荷量
ねぎ	26	389,100	千葉 58,900	埼玉 51,400	茨城 41,500	北海道 22,800	群馬 15,900	2位	出荷量
きゅうり	26	465,500	宮崎 60,800	群馬 40,400	福島 37,300	埼玉 31,100	千葉 29,600	4位	出荷量
なす	26	248,600	高知 38,500	熊本 31,400	福岡 19,200	群馬 17,800	茨城 14,300	10位 7,240	出荷量
トマト	26	665,600	熊本 121,900	北海道 58,100	茨城 45,500	愛知 42,900	千葉 41,400	15位 12,400	出荷量
スイートコーン	26	201,400	北海道 109,200	千葉 15,500	茨城 9,460	群馬 8,530	山梨 7,250	9位 3,870	出荷量
えだまめ	26	49,700	千葉 6,330	山形 5,050	北海道 4,620	群馬 4,430	埼玉 4,230	5位	出荷量
くり	26	16,000	茨城 4,290	熊本 3,450	愛媛 1,310	岐阜 774	宮崎 560	6位 469	出荷量

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下(3)まで同じ。）

(2) 水稲の生産動向

埼玉県平成27年産の水稲作付面積(子実用)は3万2,200ha、収穫量は15万4,600t、10a当たり収量は480kgとなっている。

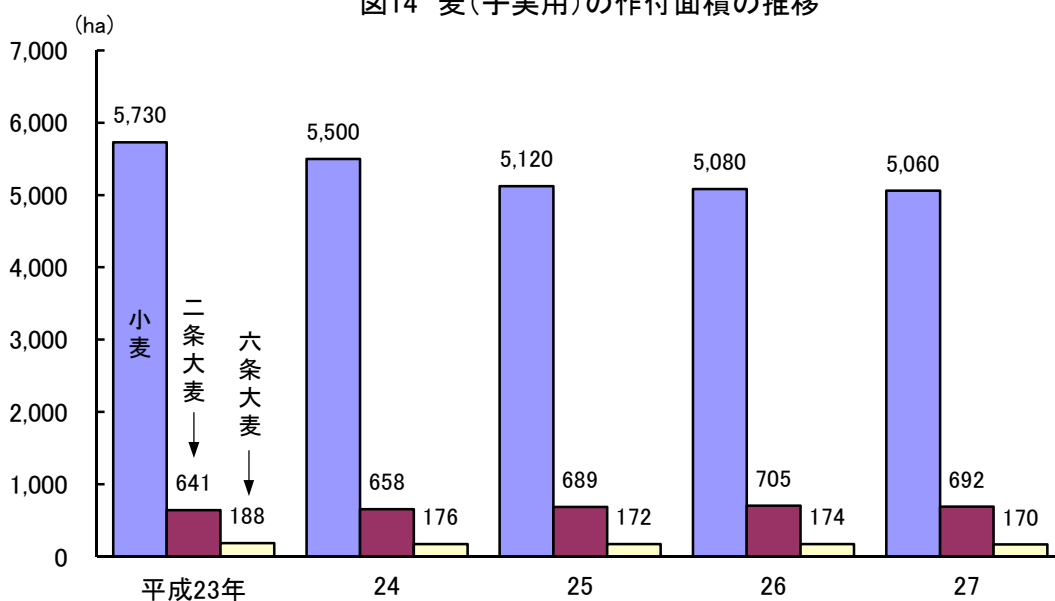
図13 水稲の作付面積、10a当たり収穫量及び収穫量の推移



(3) 麦(子実用)の作付面積の動向

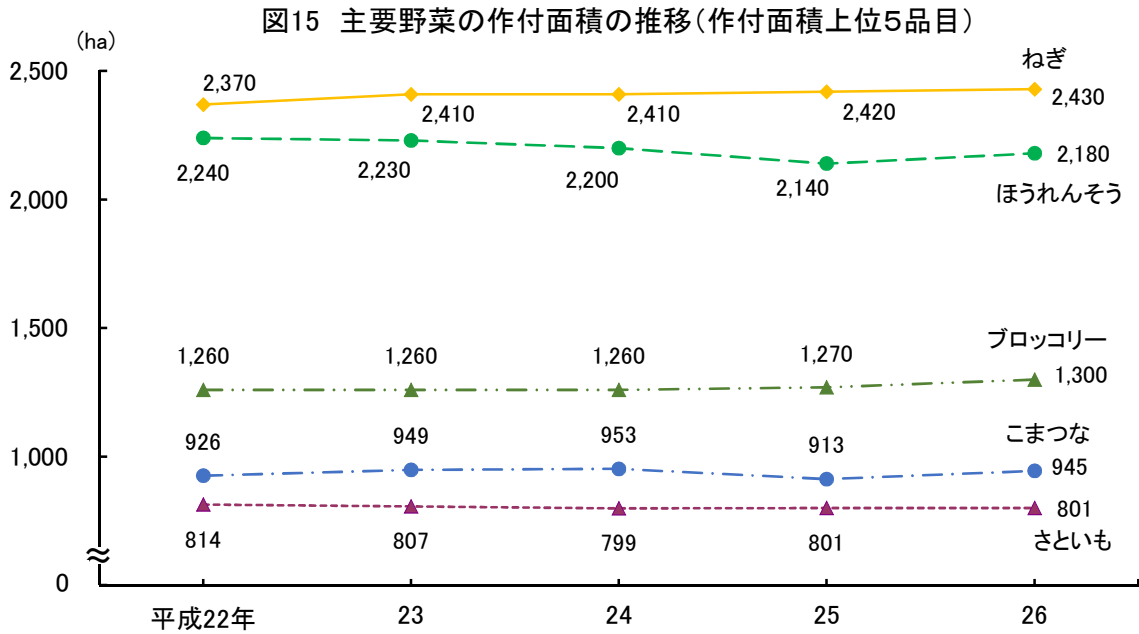
埼玉県の平成27年産の麦類作付面積(子実用)は小麦が5,060ha、二条大麦が692ha、六条大麦が170haで、前年に比べてそれぞれ20ha(0.4%)、13ha(1.8%)、4ha(2.3%)減少している。

図14 麦(子実用)の作付面積の推移



(4) 主要野菜の作付面積

埼玉県産の平成26年産の主要野菜作付面積は、さといもが801haで前年並み、ねぎが2,430ha、ほうれんそうが2,180ha、ブロッコリーが1,300ha、こまつなが945haで、前年に比べてそれぞれ10ha(0.4%)、40ha(1.9%)、30ha(2.4%)、32ha(3.5%)増加している。

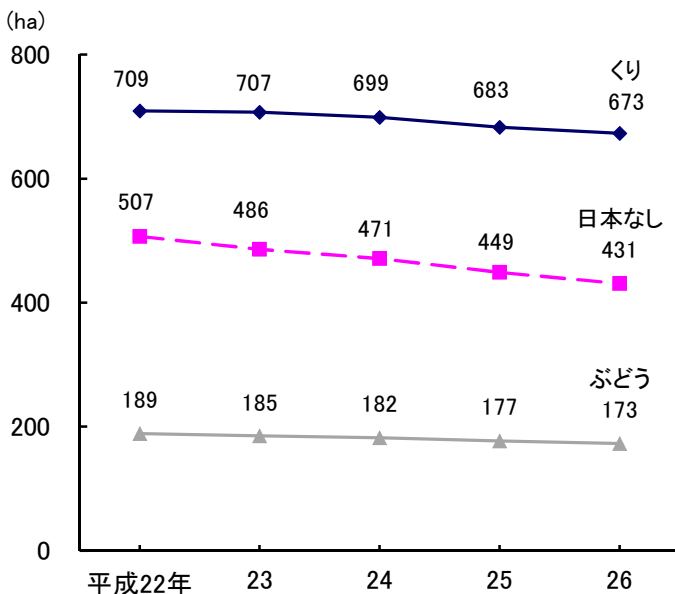


資料: 農林水産省統計部『野菜生産出荷統計』

(5) 主要果樹の結果樹面積

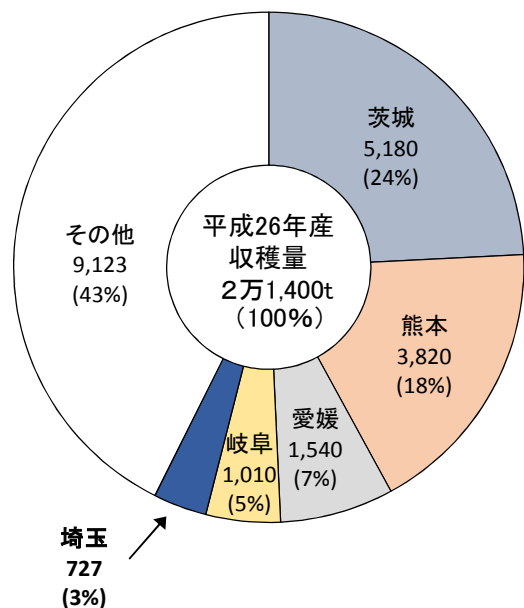
埼玉県産の平成26年産のくりの結果樹面積は673ha、日本なしは431ha、ぶどうは173haで、前年に比べてそれぞれ10ha(1.5%)、18ha(4.0%)、4ha(2.3%)減少している。

図16 結果樹面積の推移



資料: 農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』

図17 くり収穫量の都道府県別割合



II 埼玉県共販品年度別品目別共販実績ベストテン

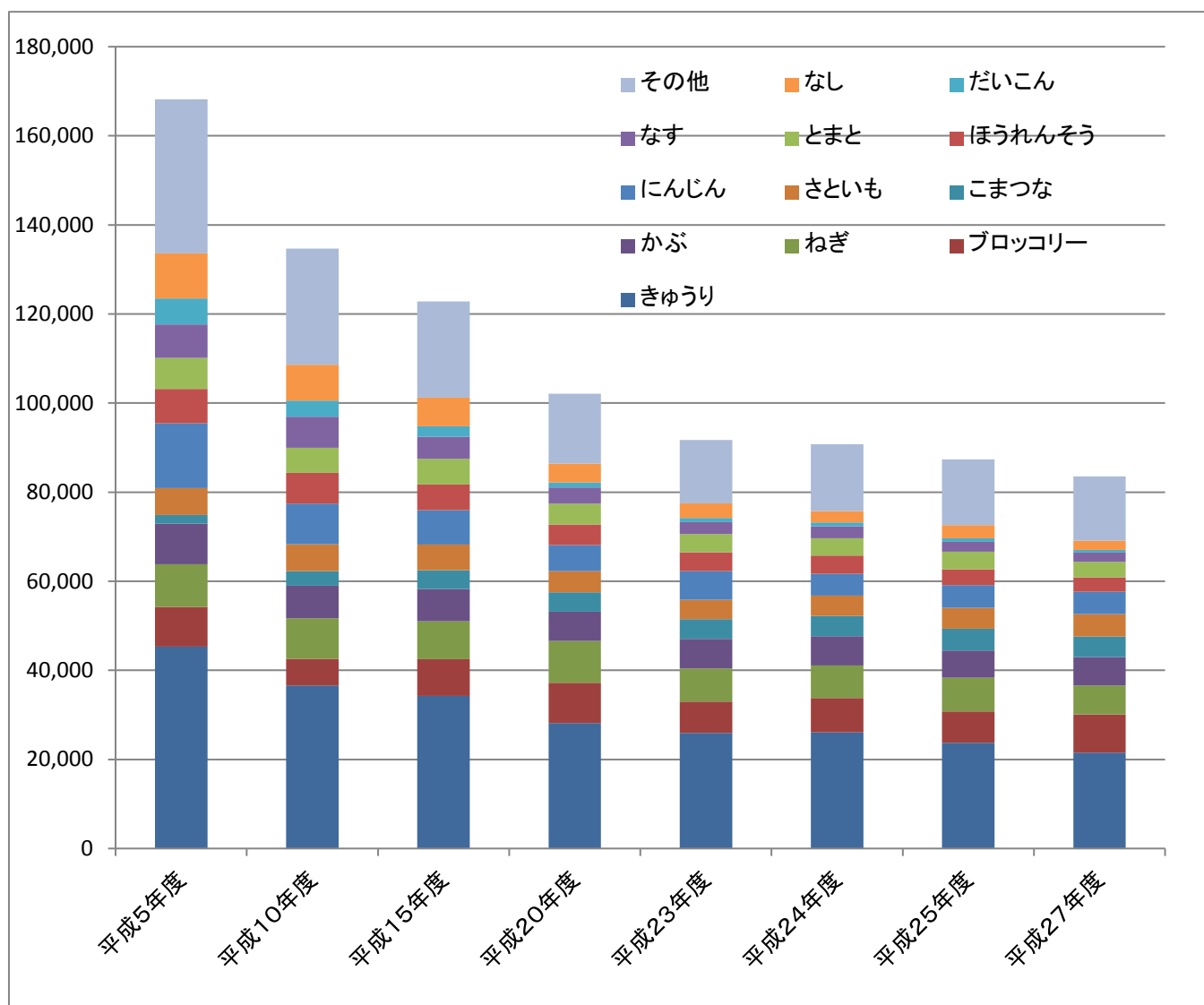
上段 数量：トン
下段 金額：百万円

	平成 元年度		平成 5年度		平成 10年度		平成 15年度		平成 20年度		平成 25年度		平成 27年度	
	品目	数量	品目	数量	品目	数量	品目	数量	品目	数量	品目	数量	品目	数量
1 位	きゅうり	47,536 12,372	きゅうり	45,304 11,711	きゅうり	36,576 10,507	きゅうり	34,258 7,513	きゅうり	28,150 7,602	きゅうり	23,734 6,494	きゅうり	21,516 5,853
2 位	いちご	4,760 3,804	ねぎ	10,156 4,944	ねぎ	10,249 3,833	ほうれんそう	5,744 2,608	ブロッコリー	9,082 2,611	ブロッコリー	7,019 2,389	ブロッコリー	8,584 2,640
3 位	ねぎ	14,429 2,910	ほうれんそう	7,719 3,643	ほうれんそう	6,878 3,073	ねぎ	10,171 2,262	ねぎ	9,377 1,967	ねぎ	7,564 1,913	ねぎ	6,501 1,754
4 位	なし	9,909 2,776	いちご	3,824 3,496	なし	8,262 2,201	ブロッコリー	8,269 1,837	ほうれんそう	4,649 1,870	ほうれんそう	3,524 1,772	ほうれんそう	3,233 1,507
5 位	なす	8,960 2,776	なす	7,526 3,071	いちご	2,548 2,138	いちご	1,919 1,551	とまと	4,650 1,263	こまつな	4,886 1,669	こまつな	4,642 1,491
6 位	ほうれんそう	7,587 2,766	ブロッコリー	8,907 2,646	ブロッコリー	6,002 1,991	とまと	5,797 1,398	こまつな	4,353 1,200	さといも	4,657 1,114	さといも	5,006 1,406
7 位	とまと	8,243 2,181	なし	10,119 2,411	なす	7,081 1,940	なし	6,427 1,370	さといも	4,769 1,043	とまと	3,941 1,006	とまと	3,464 1,117
8 位	ブロッコリー	5,874 1,866	とまと	6,974 1,843	とまと	5,732 1,644	なす	4,970 1,342	なし	4,223 1,020	なし	2,953 774	なし	2,070 646
9 位	さといも	7,509 1,804	さといも	6,078 1,659	にんじん	9,179 1,490	こまつな	4,171 1,175	いちご	1,189 905	いちご	670 613	なし	2,091 646
10 位	にんじん	14,697 1,436	にんじん	14,492 1,407	こまつな	3,238 1,125	みずな・みぶな	2,308 1,036	なし	3,614 861	にんじん	5,139 613	いちご	601 620
年度計		182,537 45,614		168,193 48,414		134,709 39,027		122,893 28,985		102,129 26,003		87,356 23,866		83,546 23,053

Ⅲ 埼玉県共販品品目別取扱数量推移

(単位：トン)

	平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成27年度
きゅうり	45,304	36,585	34,258	28,150	25,962	26,111	23,734	21,516
ブロッコリー	8,907	6,002	8,269	9,082	6,999	7,666	7,019	8,584
ねぎ	9,639	9,099	8,497	9,377	7,499	7,332	7,564	6,501
かぶ	9,101	7,342	7,269	6,531	6,586	6,572	6,154	6,385
こまつな	1,920	3,238	4,171	4,353	4,417	4,563	4,886	4,642
さといも	6,078	6,027	5,755	4,769	4,352	4,517	4,657	5,006
にんじん	14,492	9,141	7,752	5,865	6,443	4,927	5,139	5,038
ほうれんそう	7,719	6,878	5,744	4,649	4,230	4,095	3,524	3,233
とまと	6,974	5,690	5,797	4,650	4,116	3,869	3,941	3,464
なす	7,526	6,955	4,970	3,614	2,673	2,682	2,251	2,091
だいこん	5,865	3,593	2,306	1,157	934	860	760	567
なし	10,119	8,087	6,427	4,223	3,281	2,535	2,953	2,070
その他	34,549	26,072	21,623	15,709	14,239	15,054	14,774	14,449
合計	168,193	134,709	122,838	102,129	91,731	90,783	87,356	83,546



IV. 平成28年度全農埼玉県本部の取り組みについて

1. 園芸販売事業

重点実施策	実行具体策	28年度計画	備考
<p>(青果物)</p> <p>1. 販売力の強化</p> <p>2. 共販の拡大</p> <p>3. 低コスト流通の提案</p>	<p>(1) パートナー市場と連携し、市場取引での価格や数量を事前に決めた契約取引を拡大し、農家手取りの安定化をはかります。</p> <p>(2) 本県産青果物を重点的に取り扱うパートナー市場と連携し、取引先ニーズに基づく生産・販売の提案力を強化します。</p> <p>(3) 県内量販店との連携による地場青果物の取り扱いを拡大し、地産地消の取り組みをすすめます。</p> <p>(1) TAC等と連携し、未共販組合および生産者に対し集荷・販売提案による共販拡大をはかります。</p> <p>(2) 加工・業務用向け等販売先に応じた新たな組織づくりを提案します。</p> <p>(1) 出荷規格および出荷容器の集約提案や遠隔市場向け物流拠点の設置等による物流コストの削減提案をおこないます。</p>	<p>21億円</p> <p>10社</p> <p>累計20店舗</p> <p>10生産者</p> <p>新規1部会</p> <p>3品目</p> <p>3市場</p>	<p>・パートナー市場と予約相対的な取引を拡大し産地の責任を明確化することで価格決定に際し産地の意向を反映しやすくする。</p> <p>・県内に展開している量販店に対し「朝どり・鮮度・顔の見える」等の取組を積極的に実施し付加価値を付けた商品の提案と開発を強化する。</p> <p>・県南地区の葉物類（小松菜他）県北地区のねぎに対し青果ステーションと連携し出荷規格の簡素化、コンテナ容器の活用、JAの物流機能の活用等を提案することで共販誘導を図る。</p> <p>・ブロッコリー、ねぎ、葉物類の出荷規格の統一により出荷容器の集約提案を行う。</p> <p>・遠隔市場への共同積み合せを提案することで物流コストの上昇を抑える。</p>

重点実施策	実行具体策	28年度計画	備 考
4. 販売促進・消費拡大	<p>(1) 各キャンペーン協議会・行政・JAと連携し、青果物の販売促進活動を計画的に実施します。</p> <p>(2) 研修会の開催や量販店他での試食宣伝の企画によりJA販売促進員の活動を支援します。</p>	<p>1,200 店舗</p> <p>2 回</p>	
5. 安心・安全な青果物の取組み	<p>(1) 残留農薬検査の実施により県産青果物の安全・安心の取組みを支援します。</p> <p>(2) 埼玉県野菜ブランド「菜色美人」を管理し、環境にやさしい青果物を生産・出荷に努めます。</p>	<p>200 成分</p> <p>11JA</p>	
6. マーケットインへの対応	<p>(1) 産地会議等を通じ、大田市場駐在等で収集した実需者ニーズおよび他産地情勢等の情報を提供するとともに、販売提案をすすめます。</p> <p>(2) JA・主力取引市場を参集した県産青果物販売戦略会議を開催し、農家手取りの安定化に向けた生産・販売提案をすすめます。</p>	<p>800 回</p> <p>1 回</p>	<p>・パートナー市場経由にて最終実需者からの情報収集することで取引先ニーズに基づく生産販売の提案力を強化する。</p> <p>・埼玉会専門部会、県等の協力を得て品目別、地域別、目的別等の分科会を開催しそれぞれ農家手取りの最大化に向けた課題を整理、対応策を提案実施する。</p>
7. 価格安定事業	<p>(1) (公財) 埼玉県青果物価格安定資金協会と連携し、価格安定制度および需給調整制度の周知、加入予約の取りまとめのため、JA会議を開催します。</p>	<p>1 回</p>	

2. 直販企画事業

重点実施策	実行具体策	28年度計画	備考
<p>1. 買取販売・直販機能の強化</p>	<p>(1) 青果ステーションの集荷販売機能を強化し、契約的取引（買取販売・直販）を拡大します。</p> <p>(2) 青果ステーション機能を活用した包装加工による有利販売をすすめます。</p> <p>(3) 県産農産物の端境期対策として、県本部間取引等を活用し、直売所、加工業務実務者への周年安定供給をはかります。</p>	<p>26.5億円</p> <p>(包装加工) 260万パック</p> <p>7.5億円</p>	<p>(直販企画事業全体計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売先の要望に応じた包装加工・荷作り等を行う。 ・付加価値を付けた下等級品の底上げ、有利販売を行う。 ・主な品目：胡瓜・なす・ねぎ・里芋等 <p>・市場や県本部間の取引等を活用し、県産農産物の端境期対応による実需者への安定供給を行う。</p>
<p>2. 農業生産の拡大に向けた生産振興</p>	<p>(1) 関係機関・TAC・担い手サポートセンター・関係部門と連携し、量販店、加工・業務用実需者との商談強化、新規実需者の開拓による契約栽培の拡大をはかります。</p>	<p>65ha</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存実需者との商談強化、優良な新規実需者の開拓による要望品目・数量等を把握する。 ・把握した情報を基に各機関と連携し、生産者・法人・アグリシードリース利用者への契約栽培の提案を強化する。 ・確実な契約履行に向け、各機関と連携した対応を強化する。 ・主な品目：白菜・キャベツ・人参・玉ねぎ等

重点実施策	実行具体策	28年度計画	備考
3. 農産物直売所の活性化	<p>(2) T A C等と連携し、コンテナ出荷体系を活用した作業の省力化・規格の簡素化・低コスト化を提案し、集荷の拡大をはかります。</p>	<p>(コンテナ出荷) 1,950 t</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ J Aと連携した生産者への訪問活動によるコンテナ出荷体系の提案、共販出荷を促進する。 ・ 主な品目：ねぎ・ブロッコリー・じゃがいも・とうもろこし等
	<p>(3) 量販店等の販売先の拡大、(株)グリーンメッセージ、J A全農青果センター(株)との連携強化による契約販売の拡大をはかります。</p>	<p>(主要7品目) 16.5億円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存販売先との商談強化、優良な新規販売先の開拓による優位な販売条件をJ Aと連携し、提案する。 ・ 主な品目：胡瓜・ねぎ・ブロッコリー・小松菜・みず菜・なす・人参
	<p>(1) 関係部門と連携し、地場野菜の作付提案等の生産対策支援をおこなうとともに、県産青果物の地域内流通の拡大、直売所受発注システムの普及、販促活動の支援等により、直売所の活性化をすすめます。</p> <p>(2) 直売所連絡協議会と連携し、生産履歴・産直システムの導入活用による直売所の安全安心対策をすすめます。</p>	<p>4.7億円 (累計) 14JA 2JA</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場生産のない農産物を確認し、関係部門と連携した作付け提案を行う。 ・ 直売所受発注システムの普及促進、県産青果物を中心とした提案、イベントなどの販促活動の支援を行う。 ・ バーコード発行制御等の安全安心対策を直売所連絡協議会と連携し促進する。